

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 91

事務事業名	スポーツ団体等育成支援事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	地域げんき課スポーツ振興室		
課長名	出口 孝	内線	186
担当者名	川竹 洋介	内線	187

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020102	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		スポーツの振興
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業コード	040000	スポーツ団体等育成支援事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	大村市体育協会及び九州・全国・国際大会へ出場する社会体育クラブの団体と個人		
意図	各競技団体を取りまとめる大村市体育協会を支援することにより、競技スポーツの普及発展のため、組織の充実、スポーツを通じた心身の発育と競技スポーツ育成、全国大会等に出場する団体・個人の育成等、スポーツの推進を目指す。 また、県民体育大会出場選手や部活動及び社会体育クラブに属する小・中学生の保護者負担の軽減を行うことによりスポーツの推進を図る。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大村市体育協会に対して、体育協会運営費、国際大会・全国大会・九州大会出場激励費、各協会が行う市民を対象とした大会運営費、スポーツ表彰費、県民体育大会選手強化費、県民体育大会に参加する28競技団体の旅費・宿泊・参加費を対象とした補助を行う。 ・県の代表として九州・全国・国際大会へ出場する小中学生の社会体育クラブ又は個人に対し、旅費・宿泊費の補助を行う。 ・九州大会以上の大会に参加する団体・選手に激励費を支給する。 		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等	大村市体育協会運営費補助金交付要綱、県民体育大会補助金交付要綱、大村市小中学生九州・全国大会遠征費に係る助成金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 大村市体育協会の事業数	計画値	15	15	15	15	
		実績値	14	15	15		
		達成度	%	93.3%	100.0%	100.0%	
活動指標	② 小中学生九州・全国・国際大会助成金申請者数	計画値	200	300	300	300	
		実績値	259	428	352		
		達成度	%	129.5%	142.7%	117.3%	
成果指標	① 大村市体育協会の登録者数	計画値	10,000	10,000	10,000	10,000	
		実績値	8,828	9,259	9,312		
		達成度	%	88.3%	92.6%	93.1%	
成果指標	② 小中学生九州・全国・国際大会入賞者数	計画値	50	50	50	50	
		実績値	37	76	66		
		達成度	%	74.0%	152.0%	132.0%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	9,495	10,504	13,193	12,973	13,639	13,639	13,639	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	4,094	2,369	5,383	6,133	6,405	6,405	6,405	
一般財源	5,401	8,135	7,810	6,840	7,234	7,234	7,234	
② 人件費(千円)	3,142	3,841	3,923	5,544	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.30	0.50	0.55	0.75	大村市体育協会運営費、小中学生遠征費の補助金の交付等	大村市体育協会運営費、小中学生遠征費の補助金の交付等	大村市体育協会運営費、小中学生遠征費の補助金の交付等	
時間外勤務(時間)	18	31	22	45				
嘱託等人数(人)	0.39							
フルコスト(①+②千円)	12,637	14,345	17,116	18,517				

*財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	県民体育大会に参加する競技団体、九州・全国大会等に出場する小中学生に対し、継続して宿泊費及び交通費の補助を行った。 また大村市体育協会に対し、継続して運営費等の補助を行った。
事業が抱える問題・課題等	大村市体育協会の激励費及び小中学生九州・全国大会遠征費の助成は、出場回数や開催地、人数によって、年間の助成総額が大きく変動するため、見込みが難しい。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市の代表である県民体育大会出場選手及び部活動、社会体育クラブに属する小・中学生の保護者を対象として負担の軽減を行うことは、スポーツ推進を図る上で必要である。 また、大村市体育協会は公共的団体であり、スポーツ推進に関する業務を実施しているため、市の支援は必要である。						
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
全国・九州大会に参加する児童・生徒の選手の保護者負担の軽減に市が関与する必要がある。 また本来、スポーツ振興は法律に基づき行政が行うが、競技団体(30団体)の指導等について取りまとめが困難なため、大村市体育協会を中心としてスポーツの振興を図る必要があり、同協会への支援についても市の関与が不可欠である。							
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	小中学生の九州・全国・国際大会の入賞者数の目標値を大きく上回っており、成果が上がっている。 また、大村市体育協会の登録者数は目標値に届かなかったが、平成25年度から増加しており、成果が上がっている。						
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
小中学生九州・全国・国際大会の助成金申請者数保護者の負担を軽減させることは、間接的に競技スポーツの振興と強化に有効である。 また、体育協会が競技団体を取りまとめているため、指導者の育成だけでなく、優れた多くの選手を把握し、強化を図ることが出来、競技スポーツの推進につながる。							
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	随時、内容の見直しを行っており削減の余地はない。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
小中学生の九州・全国大会助成については、宿泊費及び交通費が対象であり、大会主催者を区分し、助成率を設けて算定しており適正であると思われる。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	地域の代表として活躍する選手を送り出すことは、市民の名誉であり、スポーツ振興に対しても貢献度が高いため本事業はこのまま継続したい。 また、大村市体育協会は市のスポーツ振興に欠かせないため、このまま支援を継続したい。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。